

スマートシティ施策の取組



令和2年10月9日

内閣府 政策統括官（科学技術・イノベーション担当）

スマートシティの将来像

- ・都市において分野横断的に様々なデータの取得・利活用を実現する**データ連携基盤を整備・構築**
- ・スーパーシティへの集中投資による**先端的サービスの開発**、スマートシティ各府省事業の一括的運用
- ・**スーパーシティを起点に都市間の広域連携、横展開による、地域間格差の解消を目指す**

スマートシティサービス群（例）



ICTを活用した
e-Learning、
遠隔教育の充実



地域の見守りを
支援し、安心・
安全な街を実現



災害の情報を即時に
取得・発信し、迅速な
避難・復旧を実現



いつでもどこでも
必要な移動・配送
サービスを提供



エネルギー、上下水、
リサイクルなどを
地域内で最適管理



キャッシュレス社会を
実現し、取引を
デジタルで完結



ICTデータの
活用により、
健康寿命を延伸

オープンAPI連携

スーパーシティを起点に全国共通的なデータ連携基盤の整備

連携

IT新戦略等に基づくデジタル・ガバメント実現や、データ連携基盤整備の取組

今後の 課題

- ①スマートシティの定義および要件の設定
- ②データの相互運用性・拡張性の確保に向けた基盤の整備・構築
- ③各地でのスマートシティの実装・持続的活動を担う次世代人材の育成

スマートシティの整備ロードマップ

- ・2021年度からスーパーシティのデータ連携基盤を構築、他都市の都市OSや分野間データ連携基盤とも**連携・相互運用**に着手
- ・**スーパーシティを起点に、広域連携・多核連携により 約100地域での実装を目指していく**
- ・国際標準化への取組の推進

2019

2020

2021

2022

2023-2025

社会
動向

G20大阪

G20サウジ

第1回WEFテクノロジーガバナンス
サミット (GTGS)

大阪・関西万博 (2025)

スーパー
シティ

デジタル・ガバメント実現や、データ連携基盤整備の取組
(分野間データ連携基盤 等)

国内
取組

リファレンス
アーキテクチャ構築

データ連携基盤
技術検証

連携・相互運用

サービス開発
データ連携基盤構築

区域指定

連携・相互運用

モデル事業の採択

アーキテクチャ準拠の都市OS構築

スマートシティ・スーパーシティ
に実装されたサービスやデータ
連携基盤をモデルに 横展開

官民連携プラット
フォーム設立・運営

会員の拡大

国際
協調

アライアンス設立
- ガバナンスの共通指針策定

アライアンス拡大
- 各都市の知見の共有

国際的な急速な
動きへの対応

J A S C A 設立
- 日ASEAN連携による展開

国際標準化戦略の推進
- 官民・各国連携

リファレンス・アーキテクチャを
世界とともに構築、海外連携拡大

インフラ輸出新戦略
(経協インフラ戦略会議)

海外官民協議会の
設立・活動開始

改正国家戦略特区法の成立を受け、スーパーシティに区域指定された地域における課題解決・データ連携基盤の構築を梃に、全国のスマートシティへの横展開

● 1. スーパーシティを起点としたスマートシティ形成

- 各府省の事業予算を一括的に運用するため、府省合同で公募・審査を実施。（合同審査会）
- スマートシティ・スーパーシティと最大限の相互データ連携・支援策を検討 （政策体系図）
- スーパーシティへの集中投資により、全国に横展開すべき実装・連携事例を創出

● 2. 都市OS実装・データ連携を実現する共通方針の具体化

- スマートシティ・スーパーシティにおけるデータ連携のための要件の明確化（データ連携検討会）
- アーキテクチャおよびガイドライン（SIP/スーパーシティ/MaaS）への準拠の促進
- 各事業でAPI公開を促し、共通ウェブサイト（官民連携PF等）上へのAPI公開を推進

● 3. スマートシティの各地域への展開

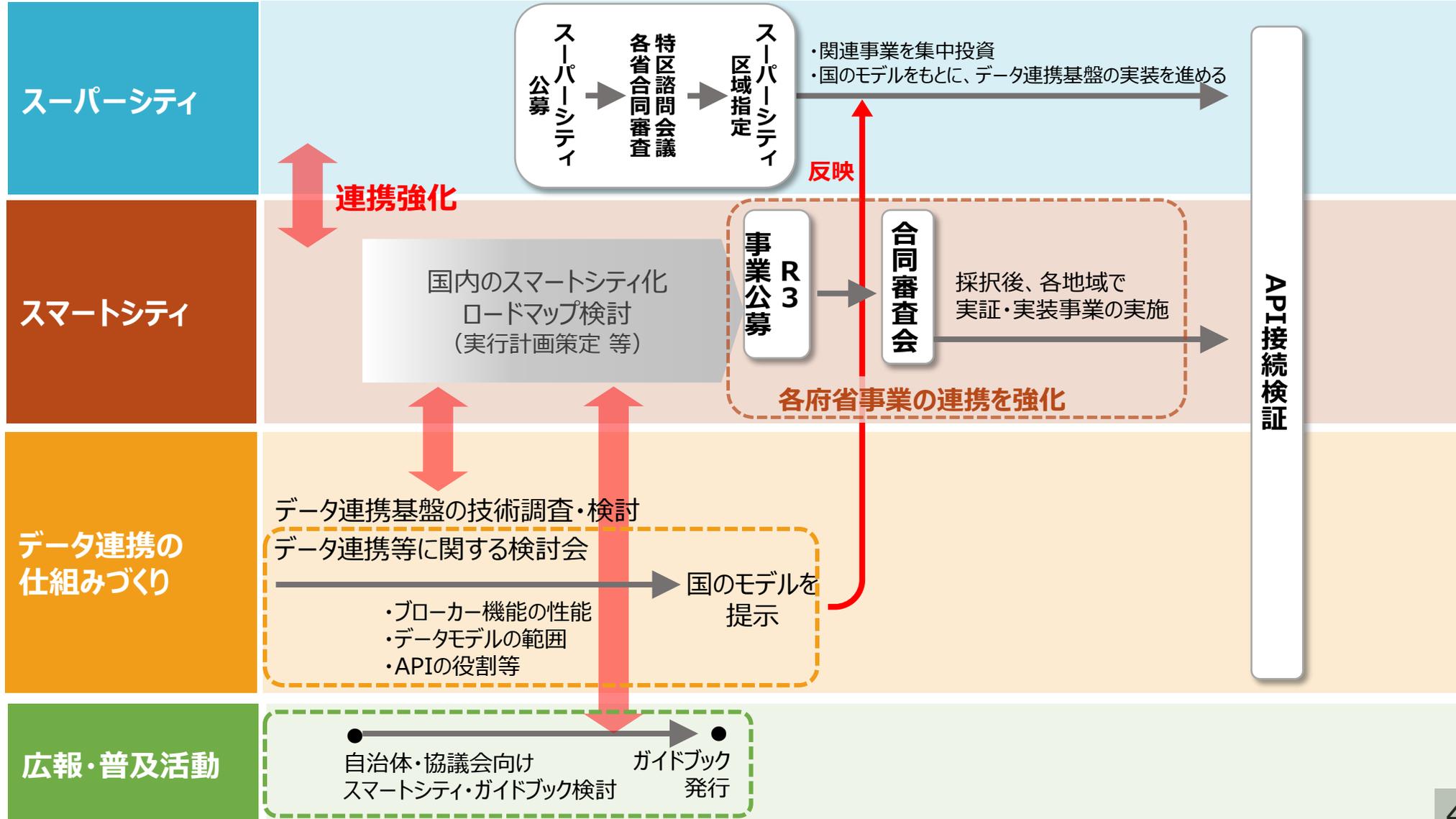
- 全国のスマートシティに対する都市OSの実装加速化
- スマートシティの標準的な構築手法（ガイドブック 2019、2020版）の展開
- 各地でスマートシティの実装・持続的活動を担う次世代人材の育成

● 4. スマートシティの国際標準化・国際展開

- 国内外へ日本のスマートシティの考え方を戦略的に発信し、信頼できるスマートシティの確立

R2-3年度のスマートシティの推進に向けた取組

2020年度							2021年度							2022年度	
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10-12月	1-3月	4-6月

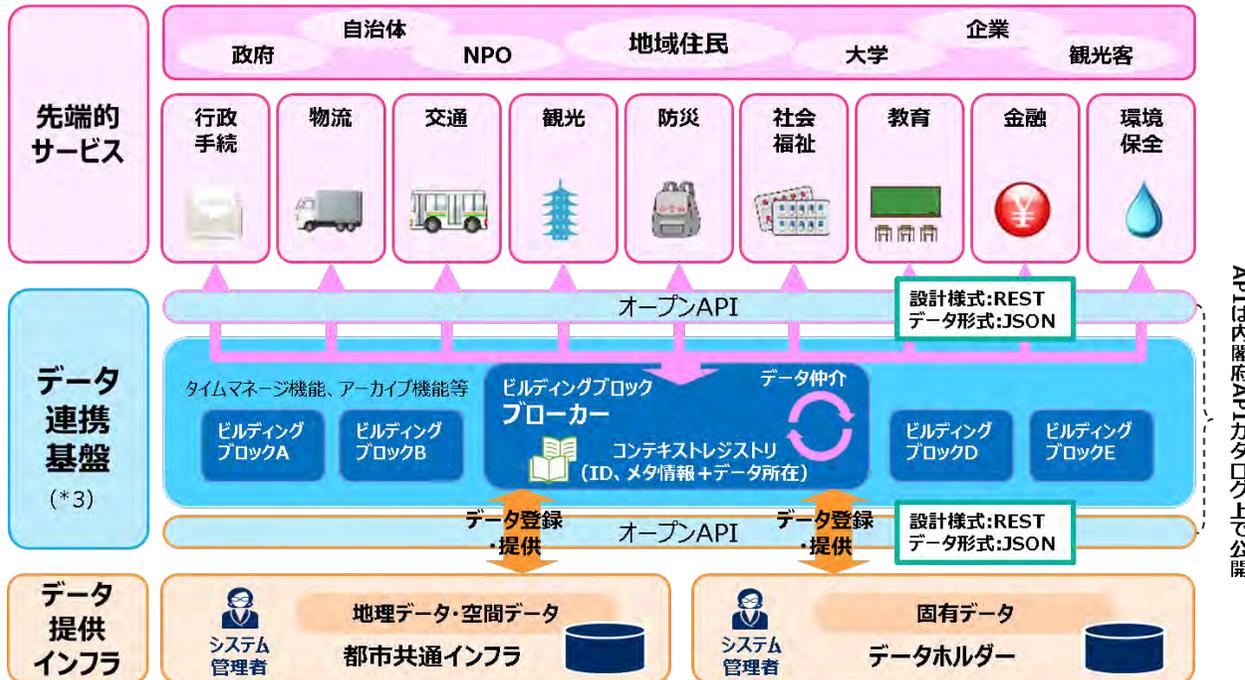


都市OSの社会実装の加速化

- リファレンス・アーキテクチャに沿って技術検討を推進。スマートシティ・スーパーシティに求められる**データ連携の要件をより明確化**。
デジタル・ガバメント実現や、データ連携基盤整備と連携。
- 内閣府（地創・科技）が事務局となり、有識者に加え、総務省、経産省、国交省等がメンバーとして参加。

データ連携基盤とオープンAPIの考え方

- ・データ連携基盤の機能である**ブローカーの仲介により**、分散データをAPI（*1）経由で提供する。
- ・**設計様式:REST、データ形式:JSON**を原則とするが、やむを得ない場合は個別に判断する。
- ・データ連携基盤のAPIは**オープンAPI**（*2）とし、内閣府の整備する**APIカタログ上で公開**する。



主な検討項目

データ分散方式のデータ連携基盤について

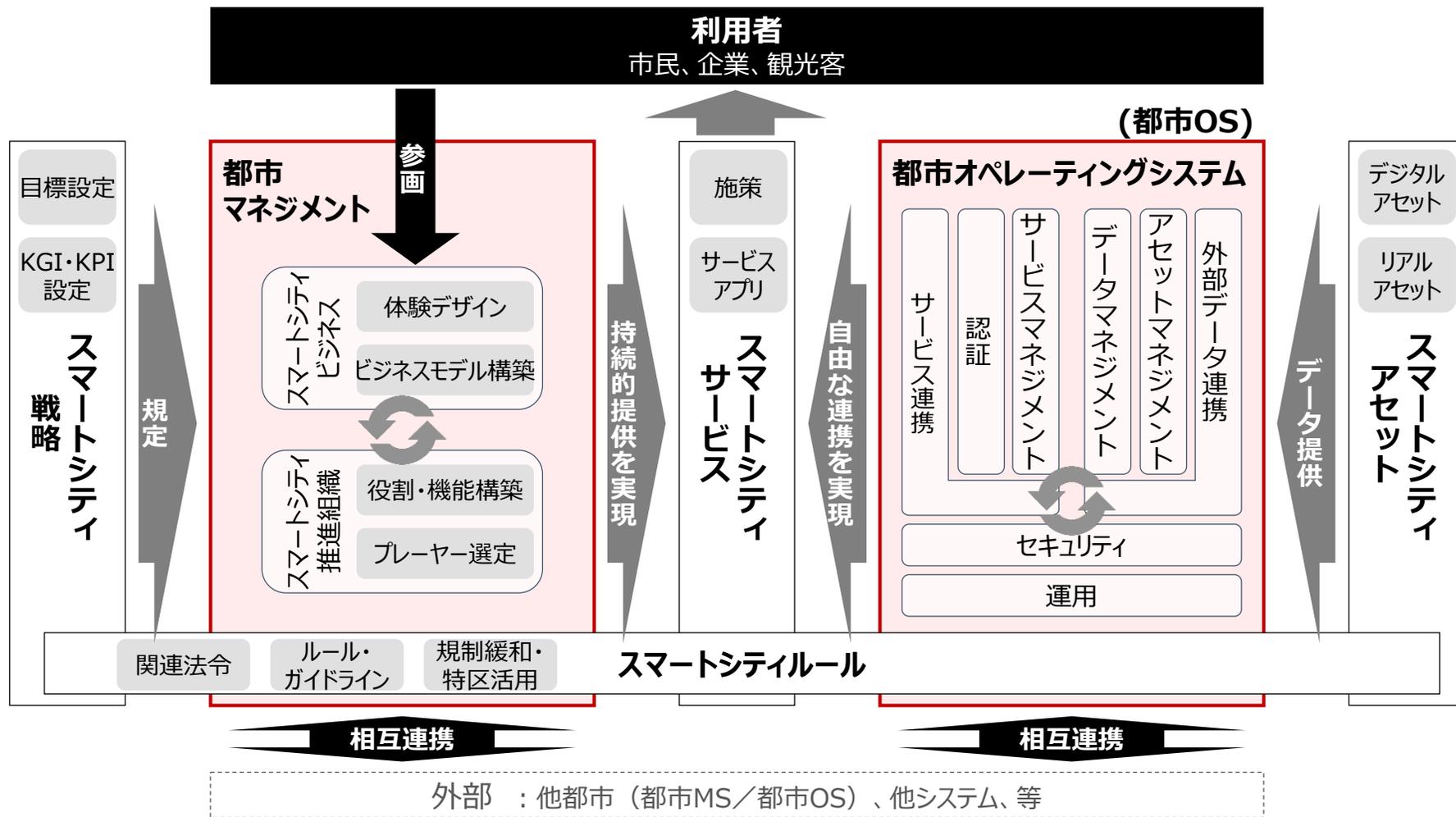
- ①APIの役割とレギュレーション（ルール・仕様等）、公開方法
- ②ブローカー（データ仲介機能）の処理能力等
- ③データ構造の標準化

※上記と連動し、自治体向けガイドブック（2020年度版）作成のための検討を行う。

(*1) API :Application Programming Interface (*2) 狭義のオープンAPI (*3) データ分散方式を推奨。必要に応じてデータ蓄積も許容。

参考：スマートシティ リファレンスアーキテクチャの全体像（令和2年3月公開）

- Society 5.0リファレンスアーキテクチャをもとに、「利用者中心」「外部連携」に焦点を絞り、スマートシティの構成要素間の関係性を図示
- スマートシティを実装する際に決めるべき/考慮すべき事項を整理
 - 「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期 ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術におけるアーキテクチャ構築及び実証研究」で実施



スマートシティ／スーパーシティ推進のための政策体系図（案）

内閣府 作成
※今後各省と調整

- IT新戦略等に基づくデジタル・ガバメント実現や、データ連携基盤整備の取組と連携

<A> 分野ごとのデータ連携基盤

- (例)
- 自治体保有のデータベース
 - 国土交通データプラットフォーム
 - 農業データ連携基盤 (WAGRI)
 - 防災関連データ連携基盤
 - 地球環境情報プラットフォーム(DIAS)
 - G空間情報センター
 - V-RESAS 等

 「分野ごとの先端的サービス」に係る支援

- (例)
- 分野総合** 地方創生推進交付金 (Society5.0タイプ) 【内】、地域課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証【総】
 - 移動** 高度な自動走行・MaaS等の社会実装に向けた研究開発・実証事業【経】、日本版MaaS推進・支援事業【国】
 - 教育** GIGAスクール構想【文】
 - 医療・介護** 地域医療介護総合確保基金【厚】、ヘルスクアサービス社会実装事業【経】
 - 観光** 観光地の「まちあるき」の満足度向上整備支援事業【国】
 - エネルギー** エネルギー消費の効率化等に資する我が国技術の国際実証事業【経】、地域の系統線を活用したエネルギー面的利用事業費補助金【経】、自立分散型エネルギー導入推進事業【環】
 - 暮らし** 生活空間におけるサイバー／フィジカル融合促進事業【経】、サステナブル建築物等先導事業【国】

データ連携

<C> スーパーシティ

- 先端的サービス実証調査事業 (仮称)【内】
- データ連携基盤整備事業 (仮称)【内】

支援



支援

<D> 「横展開」支援

- スマートシティ実証調査事業【国】
- データ連携促進型スマートシティ推進事業【総】

<E> 「施設・インフラ整備 (都市インフラ・通信ネットワーク等)」に係る支援

都市インフラ

- (例) 社会資本整備総合交付金【国】 等

通信ネットワーク

- (例) 高度無線環境整備推進事業【総】 等